

## その他の取り組み

製品の開発や製造、物流など各段階での環境保全への取り組みとあわせて、コーセーでは社内、社外に向けた環境保全活動も展開しています。もちろん企業と地域社会との連携も重要な課題であり、積極的に活動の輪を広げていきたいと考えています。

### カーボンオフセットを実施

様々な経済活動や日常生活で排出されるCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量を算出し、その分を植林や植樹で埋め合わせるカーボンオフセットが話題になっていますが、2008年度はコーセーコスメポート サロンスタイルのトライアルセットで実施しました。売上の一部でカラマツの木を中国の蒙古自治区内に植林しますが、パッケージに『“サロンスタイルの森”創立 地球温暖化を防止していこう』というメッセージを表記しました。



### 環境団体への参加・協賛

コーセーは様々な環境団体の活動にも参加しています。例えば、グリーン購入を積極的に推進するためにグリーン購入ネットワークに参加したり、廃棄物のリサイクルを促進するために、特定事業者である財団法人日本容器包装リサイクル協会に委託しています。

また、コーセーの発行する提携クレジットカード『コーセーカード』は、利用者の使用金額に応じてコーセーが地球環境財団への寄付を行うという付加機能を持っていますので、カード利用者は特別な出資をすることなく地球環境へ貢献していることとなります。

### エコ活動事例・エコ川柳の募集

コーセーでは社員の環境保全に対する関心を高め、環境活動への啓発をはかる活動の一環として、毎年12月をエコ推進月間と位置付けています。全社員、全事業所を対象として社内キャンペーンを展開するほか、全社員、全部門を対象としてエコ活動事例とエコ標語の募集を行っています。この活動は1999年にスタートし、2008年度で10回目となりました。そのため従来のエコ標語を今回はエコ川柳の募集に切り替えました。

### エコ活動事例表彰



#### [最優秀賞]

容器包装資材の削減

(商品デザイン部、企画部、商品開発部合同チーム)

別個包装が主だった用時混合型商品の2連ラミネート化を提案し、使用包装材の量を大幅に削減させた。



使用時に一方のラミネートの中身を指で押し出し、もう一方と混合する新型容器

#### [優秀賞]

九州地区で、化粧品3社による共同配送を実施(ロジスティック部)

#### [生産・物流部門賞]

■クリーム等を製造するプラネタリミキサーの「かきとり棒」を改善し、廃棄されるバルクを削減  
(狭山工場製造課)

■メイクアップ製品の製造に使われるスラリー充填機の洗浄方法を改善  
(狭山工場生産課)

■口紅やアイメイクアップ等小型製品化粧箱改良による包装材料の削減  
(生産技術センター)

#### [販社・研究部門賞]

■ゴミ分別活動の徹底でコスト削減とオフィスの美化を推進  
(八王子支店)

■不要になったダンボールの再利用推進  
(熊本支店)

■エコバッグ持参活動の推進  
(関西第三支店)

#### [エコ川柳優秀賞]

■紙一枚 社員全部で 五千枚  
(狭山工場品質管理課 女性)

■ゴミ箱のメタボ対策 ゴミ分別  
(群馬工場品質管理課 男性)

■昔ケチ 今じゃエコだと 褒められて  
(中部ストア支店 男性)